
恋の薬をお願いしますっ！

沙菜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋の薬をお願いしますっ！

【Nコード】

N6568X

【作者名】

沙菜

【あらすじ】

あたし、桐谷ルイ！中学3年生の元気が取り得な女の子ですっ！

そんなあたしが、なんか恋しちゃったみたいなんだよね・・・こんな気持ち初めてでどうしたらいいのかわからないんだ・・・

嬉しい事、辛い事、たくさんあるけど、やっぱりアイツの笑顔を見ると幸せな気分になるんだ。

そんなあたしの初恋物語、よかつたら聞いてくれない？

あたしについて。（前書き）

初投稿です。

よかったら感想お願いします。

厳しい意見もお願いします。

あたしについて。

あたしの名前は桐谷ルイ。牡牛座のO型。得意な事は水泳で二ガテナ事は勉強。えーつとあとは・・・まあいつか。

学年は中学3年生。そ、受験生なんだよねー。やばいってわけ。でもそんな中友達と遊びに行ってるってゆーあたしってやつぱダメだよねーあはは・・・って笑い事じゃないんだけどさあ。母さんには塾に入れさせられたし。マジ勘弁してよねー

えっと、とりあえずあたしのプロフィールはこんなもん。

え、性格が書いてない？そんなのこの話かた見れば分かるでしょ？大雑把で細かい事は気にしなァーいって感じの性格。でもほんとは臆病なトコもあるんだけどね。

そんなあたしなんだけど、実は今恋してるんだ。

あたし今まで恋愛なんてしたことないから、いろいろ不安で分からなくて誰かに聞いてほしかったんだよね・・・

そこのあなた、良かったら聞いてくれない？

新学期は最高だぁ！（前書き）

感想よかつたらいただきたいです。

新学期は最高だあ！

季節は春。

身をきるような冷たくとがった冬の風から、柔らかくどこかあまい風が変わっていくこの季節があたしはとても好きだ。

「・・・なぐんで、詩人っぽいかな」

あたしらしくないよね。思わず笑いがこみ上げてくる。

でも、春は本当に好きだ。風が変わるのも好きだけど、何より・・・

「ルイーっ、早くクラス発表見に行こうよーっ」

遠くから親友の綾芽が手を振る姿が見える。

そう！！クラス替え！！

あたしの中では修学旅行やキャンプとかよりも気になる学校行事。席替えとおんなじくらいかな？

今年は本当にいいクラスになってほしい。

だって3年だし！ガッコ最後だし！！体育大会とか合唱会とかで賞とりたいし！！！！

ときどきしながら3年の靴箱まで走る。

靴箱の前ではクラス発表を見た子達が喜んだり表情ゆがませたり、いろいろ。

「はいはい、ちょっとごめんね」

小声でいいつつ、あたしは最前列へ。

えーっと、1組・・・2組・・・3組・・・あ、綾芽は3組かあ・・・4組・・・あ！

あたし4組！！

次にチェックするのは、友達探し。綾芽とは離れちゃったけど、誰かいるかなあ・・・女子、女子・・・あ、唯がいる・・・お、環もいるじゃん。あとは・・・男子・・・あ、リュウがいる！やったあ！

リュウ（龍太郎）とは、幼馴染であたしの一番の親友。かつこいいし、頭もいいし、バスケット部ではエースだし・・・つまり超モテる奴。こんなが親友だと、リュウと話したい目当ての女子も結構あたしんとこにくるんだから、時々リュウの才能を恨みなくなるけど・・・ま、今はいいや。

テンション上がってきたあー！！

唯と環とリュウがいる。とりあえずあたしはコレで満足だ。あとのことはなんとかなるよな、うん。

持ち前のポジティブ（自分で言うのもなんだけどね）で、教室に向かおうとしたそのとき、

「ルイー」

あたしを呼ぶ声。

ふりむくと、綾芽が笑って立っていた。

「おー綾芽！隣のクラスになっちゃったねー。マジ残念なんだけど」

「ほんとだよーマジないわぁー。だってうちのクラス、仲いい子あんまないんだもん。ルイがうらやましいよーっ。唯でしょ、たまちゃんもいたでしょー？あと・・・だれかいた？」

「リュウが一緒だよ」

「えーリュウ？ほんと最高じゃんかぁ」

綾芽が頬をふくらませる。・・・なんかふぐみたい。ふぐみたいだけど・・・可愛いんだよねぁ。

ぼーっとそんなことを考えてると、

「ルイ？」

綾芽が不思議そうな顔でこっちを見ていた。

「急にぼーっとして。大丈夫かぁ？」

「だーいじょうぶだぁ」

あたしの言葉に綾芽が笑う。綾芽の笑い方があたしはすごく好きだ。なんか、見ているこつちが癒されるといふかなんというか、周りまで嬉しくなりそうな笑い方をするんだよね。

女の子って感じ？

まだ笑っている綾芽にバイバイと声をかけてから、あたしは4組の教室に入った。

名簿を見ると、あたしは1番後ろで、なんとリュウの隣！前の席は唯！！

おーおー、もしかして1年間の運ここで使ってんじゃないんだろうなあ・・・

思わず不安になる。それくらい最高なんだけど・・・

「こんなにクラスがいい代わりに受験で失敗したら困るなあ・・・」

「お前でも高校行こうと思うんだ。びっくり」

「ちょっと、あたしはそこまでバカじゃない・・・ってあれ？」

あたしの独り言に皮肉を返すこの口調は・・・

おそろおそろふりかえる。・・・ああ・・・やっぱり・・・

「おい、なんだよその目。俺じゃわりぃーかよ」

リュウが口を尖らせて立っていた。左手にはバスケットボールを持
っていて、さつきから指先でくるくると回している。器用なやつめ。

「そーいや俺ルイの隣なんだろう？席」

「うん、そーみたいだねー」

「ゲツ、やっぱりそうか。マジかよー」

「なに！？あたしだと不満か？」

幼馴染で親友だと思っていたのはあたしだけかい！ええ？

思わず心の中でつつこむ。

そんなあたしのつつこみは聞こえていないはずなのに、リュウがな
ぜか吹きだした。

「・・・なによ」

「いやあー？別に。まーお前と一緒にのクラスならバカやれる奴が増
えるからいーけどな。よろしく」

「まいど」

パチンツ。リュウとハイタッチ。

今年の一年はほんと最高な一年になりそーだっ！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6568x/>

恋の薬をお願いしますっ！

2011年10月30日22時20分発行